



●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡してください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

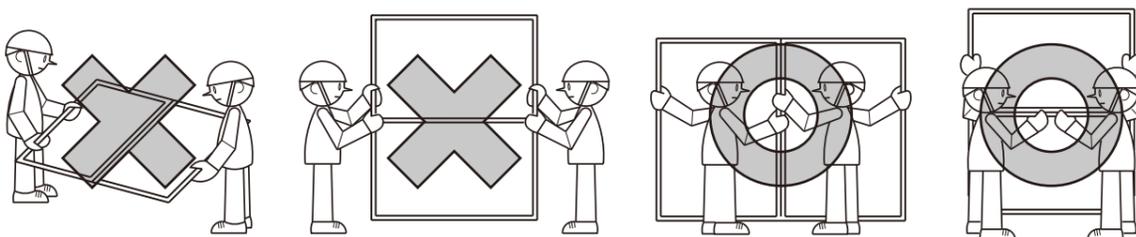
- ・防水テープ無目はサッシ枠に沿って必ず圧着してください。
- ・段窓無目に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ・フィンカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。

■組立て上のお願い

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後にに入れてください。
- 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま段窓無目部分をしっかり支持してください。
- 段窓組立て後の取付けは、「段窓無目取付け説明書」を参照してください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡してください。
- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

■組立て後の取扱いとお願い

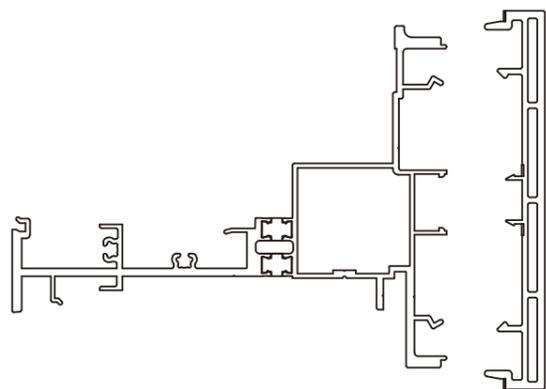
- 組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



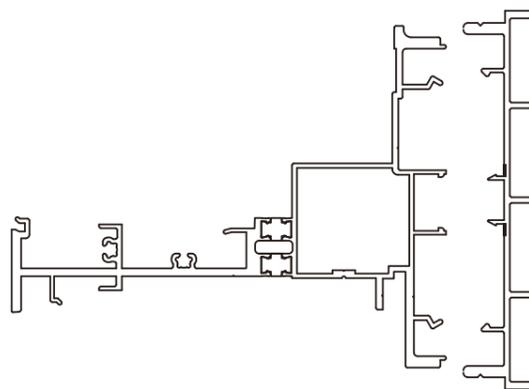
■段窓無目の種類

段窓無目

【ねじレスショートアングル】



【ねじ付アングル】

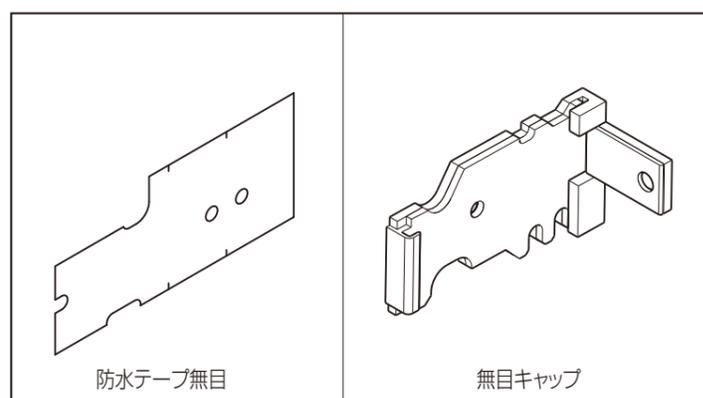


■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。
 ※⊖は、取付け説明書と一緒に、必ず取付けされる方にお渡してください。

①	引違いサッシに同梱 ⊕	Ⓐ	⊖	⓪
バインド小ねじ M4×8	特平ドリル小ねじ φ4×18.5	バインドタッピングねじ φ4×20	皿木ねじ φ3.8×25	皿小ねじ M4×6
	組立て用		躯体取付け用	アングル取付けねじ

■部品一覧表



組立て順序

1 上下枠のフィンカット

※ねじレスショートアングルの断面で説明しています。

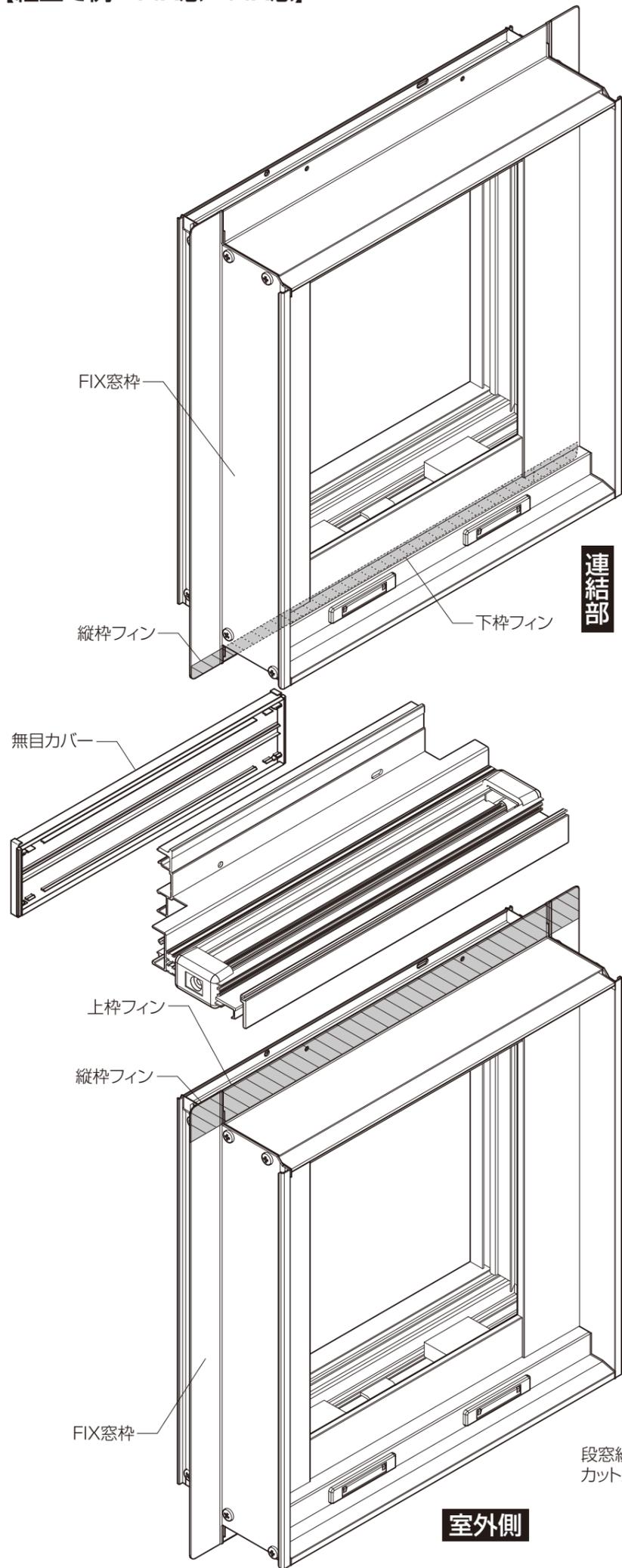
①連結部の縦枠・上下枠フィンのV溝にカッターで1~2回スジをつけます。

②プライヤーで、部を折曲げながら取除きます。

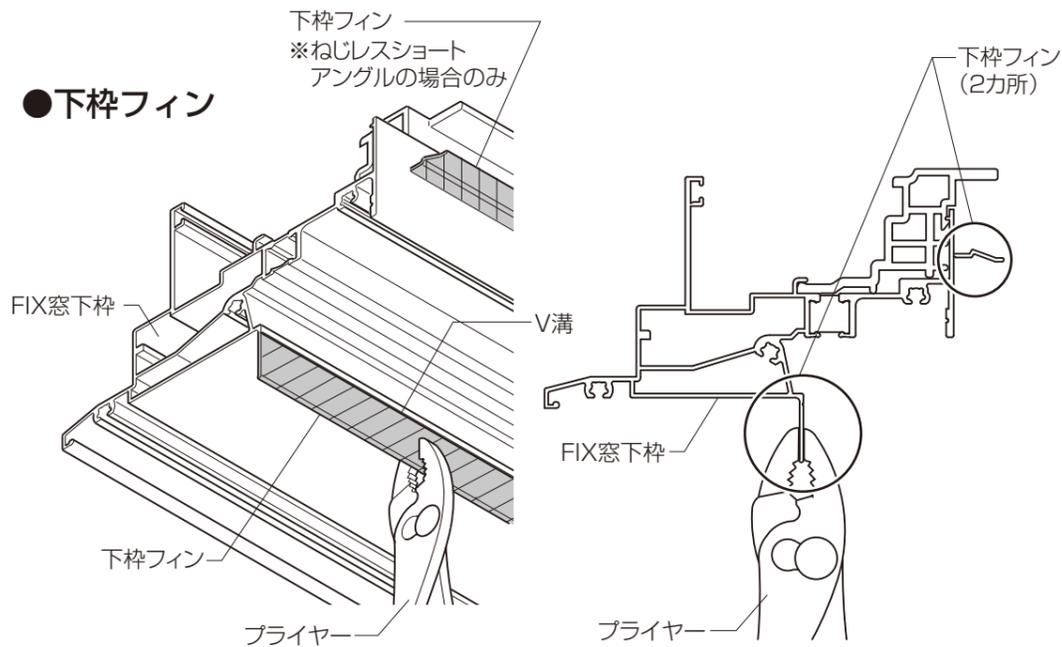
③コーキングシーラーのを切取ります。

※上下枠のフィンカット部は各々2カ所あります。

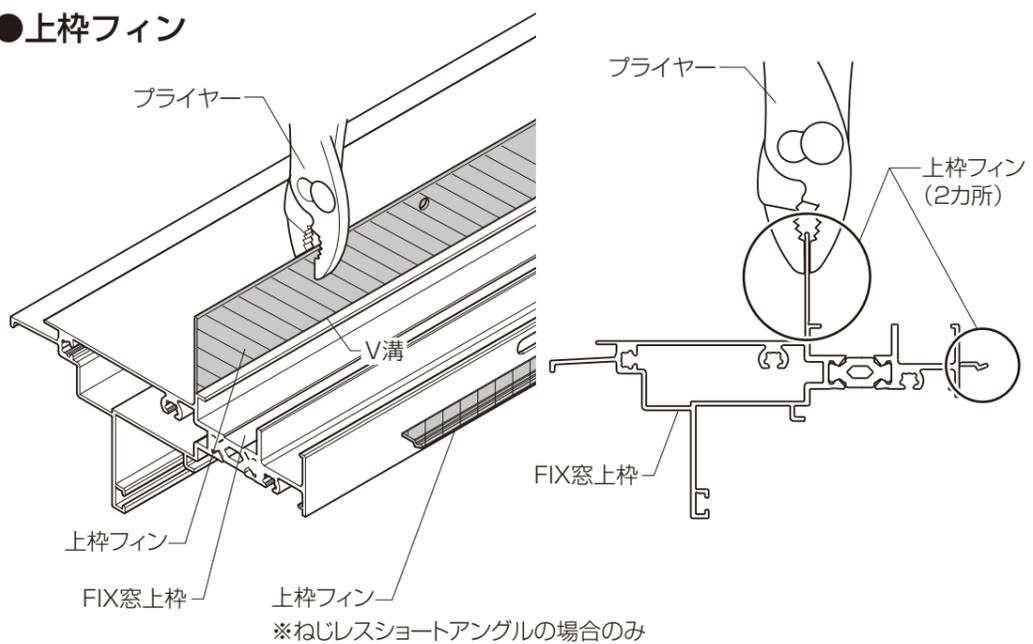
【組立て例：FIX窓+FIX窓】



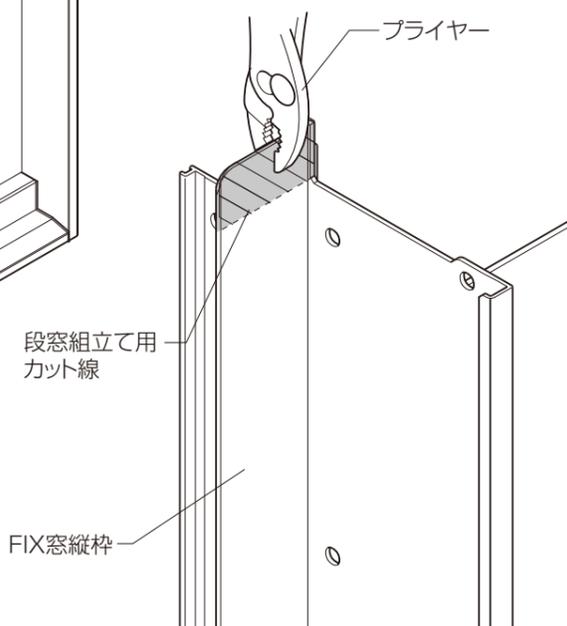
●下枠フィン



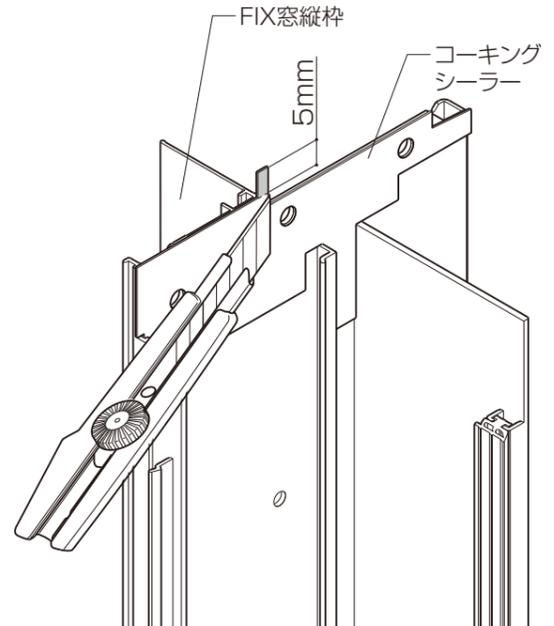
●上枠フィン



●縦枠フィン



●コーキングシーラー



▲注意

- フィンカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。
- また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。

2 段窓無目との連結

< 装飾窓 / 装飾窓の場合 >

※ねじレスショートアングルの断面で説明しています。

①上下のサッシ枠をそれぞれ組立てます。

②段窓無目と上下枠を一体に組合わせ、端部を面一に合わせ、右端の穴から段窓無目の穴をすべて①でねじ止めします。

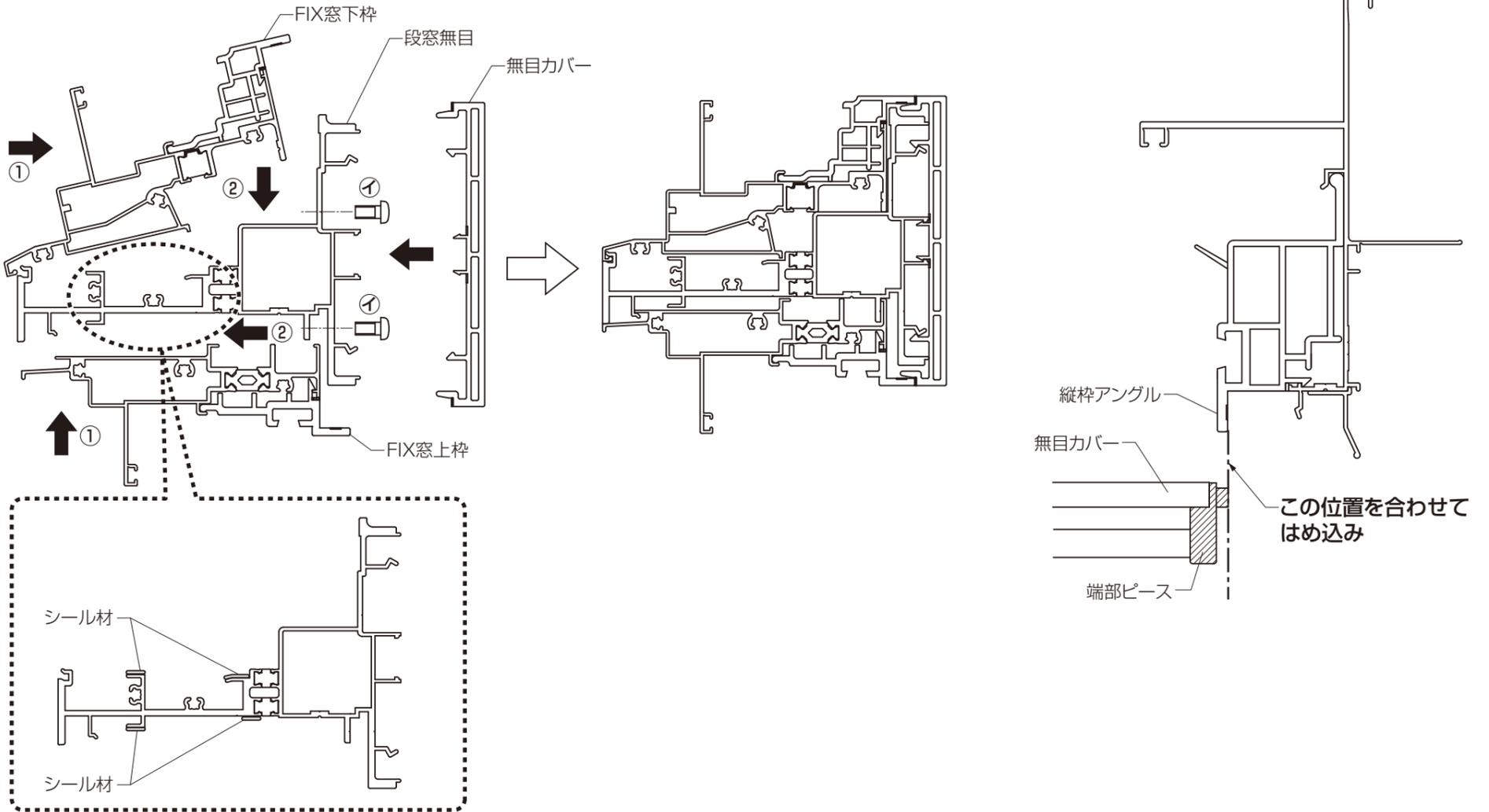
※段窓無目に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。

その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。

※段窓無目とサッシ上・下枠の室外側面が同一面になっていることを確認してください。

③無目カバーに取付いている端部ピースとサッシ縦枠アングルの位置を合わせ、無目カバーをはめ込みます。

※無目カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。(ねじレスショートアングルの場合のみ)



< 引違い / 引違いの場合 >

①上下の引違い枠をそれぞれ組立てます。

②段窓無目と引違い上枠の両端を合わせ、引違いサッシに同梱されている◎特平ドリル小ねじで固定します。

その際、室外側の面ズレがないようにして組立てます。(下記の詳細図参照)

※段窓無目に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。

その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。

③段窓無目と引違い下枠の両端を合わせ、下枠を段窓無目に押しつけ、段窓無目の穴に合わせて、引違いサッシに同梱されている

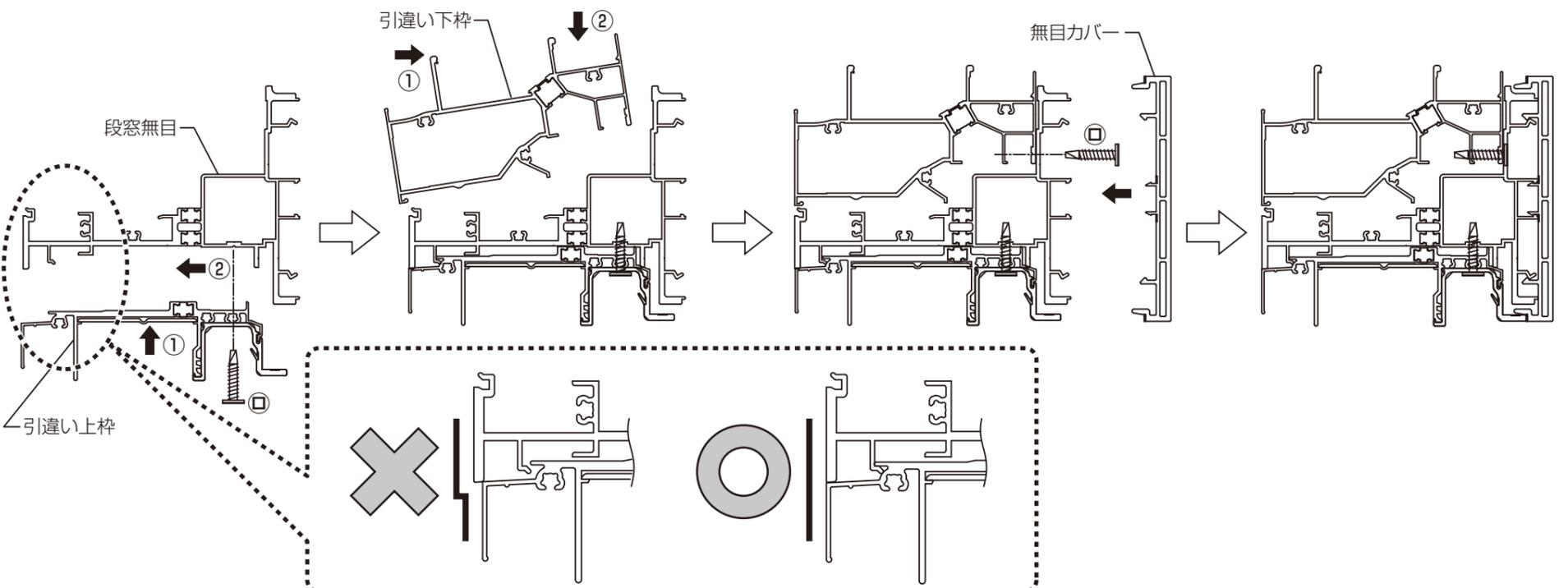
◎特平ドリル小ねじで固定します。その際、室外側の面ズレがないように組立てます。

④上下枠の穴をすべてねじ止めします。

※引違いの上下枠には穴はあいていません。

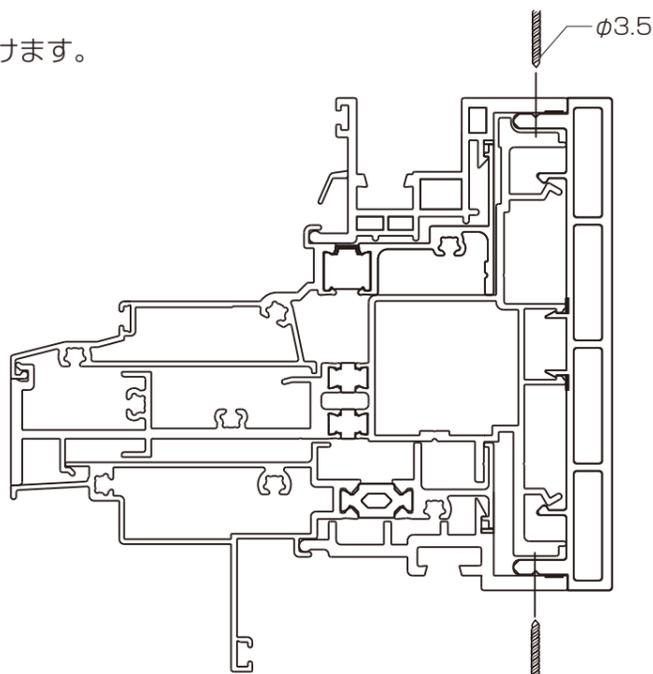
⑤無目カバーに取付いている端部ピースとサッシ縦枠アングルの位置を合わせ、無目カバーをはめ込みます。

※無目カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。(ねじレスショートアングルの場合のみ)

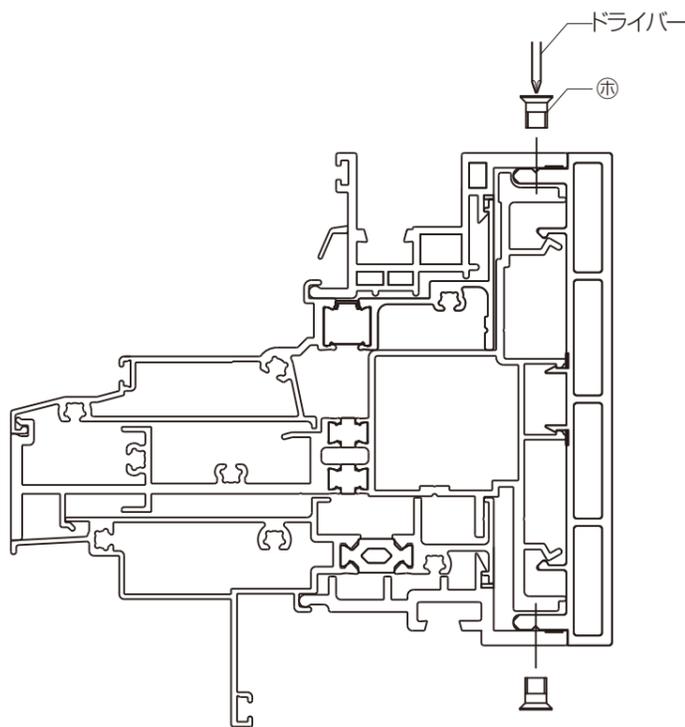


【ねじ付アングルの場合】

⑥サッシ本体のアングル取付け穴から無目のV溝に、φ3.5の下穴を開けます。
 ※無目アルミ型材まで穴を開けても問題ありません。

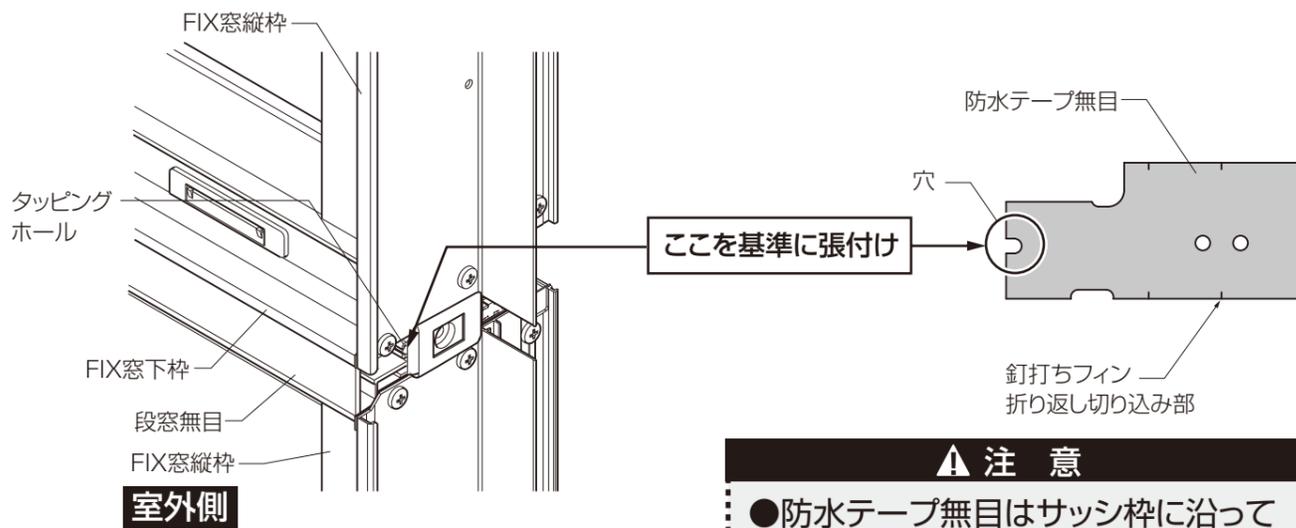


⑦アングル取付ねじを取付けます。
 ※無目カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。
 ※アングルねじはまっすぐにねじ込んでください。
 ※アングルねじの締めすぎに注意してください。
 形材が変形などをおこさない程度に締付けてください。

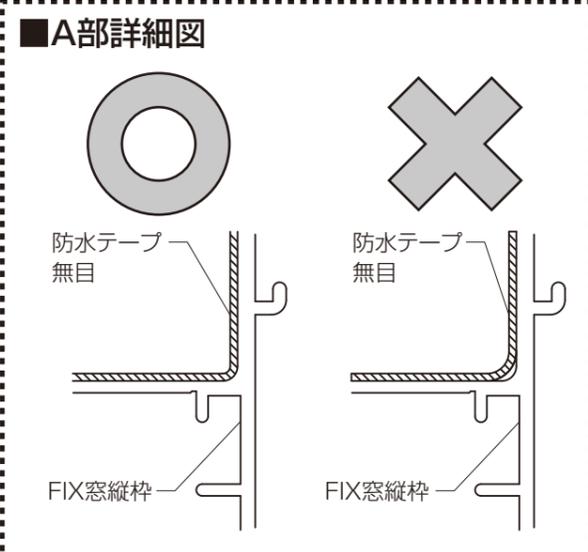
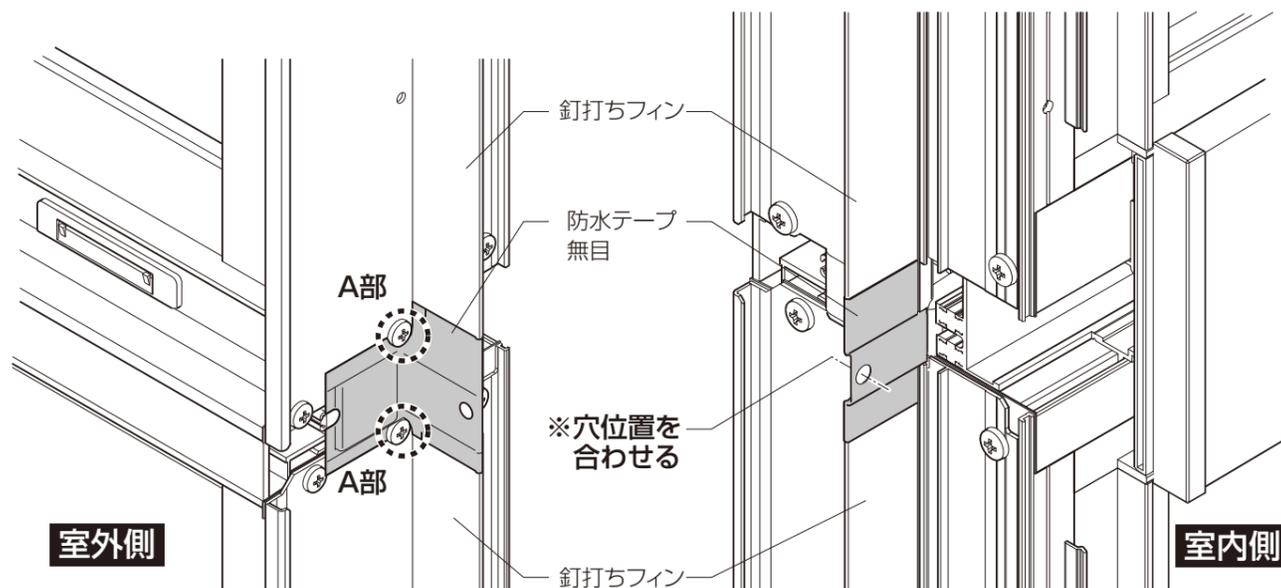


③防水テープ無目の張付け

●防水テープ無目を張付け基準位置に合わせ、サッシ枠に沿って張付けます。
 ※防水テープ無目にはL・Rがありますので確認してください。
 ①防水テープ無目の穴と段窓無目のタッピングホール位置を合わせ、サッシ枠に沿って防水テープ無目を張っていきます。
 ※コーナー部は必ず押えてすき間があかないようにしてください。
 ②防水テープ無目の切込み部で釘打ちフィンを折り返し、釘打ちフィンの裏側まで張ります。
 ※防水テープ無目の2つの穴位置を合わせて折り返してください。



▲ 注意
 ●防水テープ無目はサッシ枠に沿って必ず圧着してください。

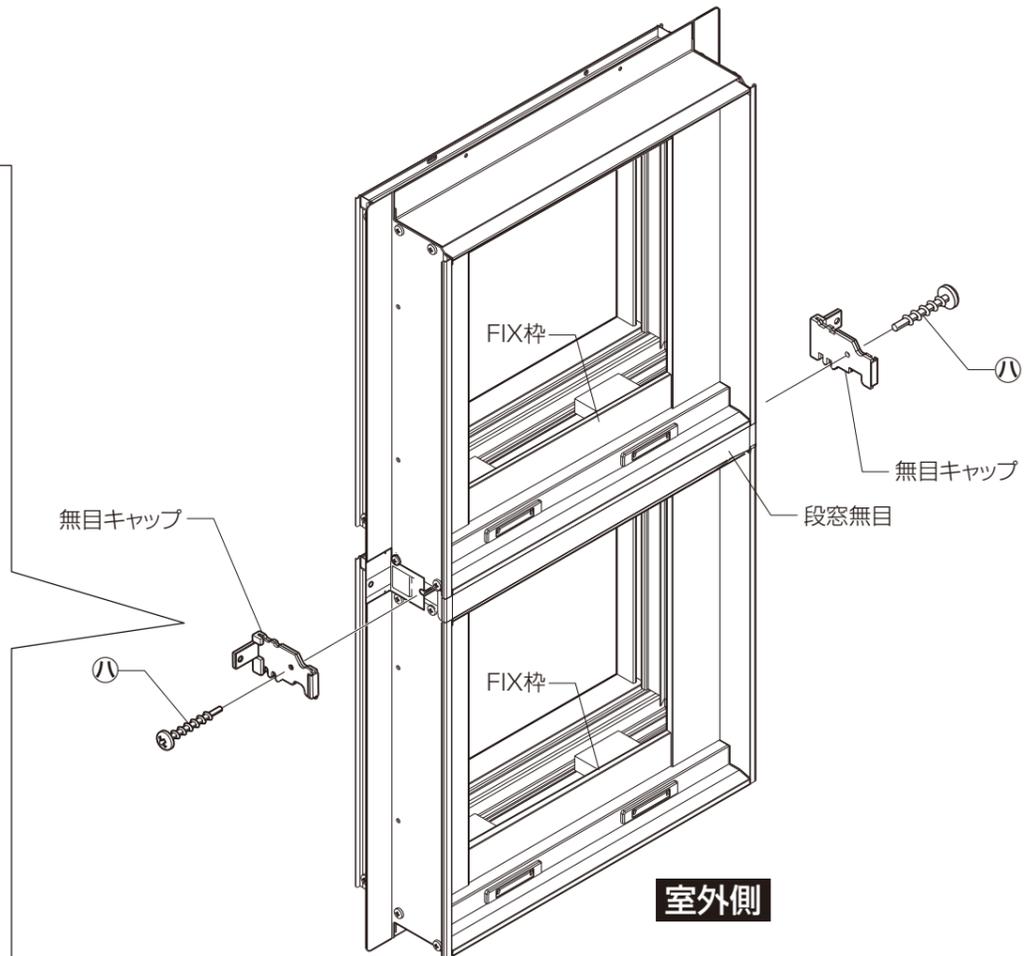
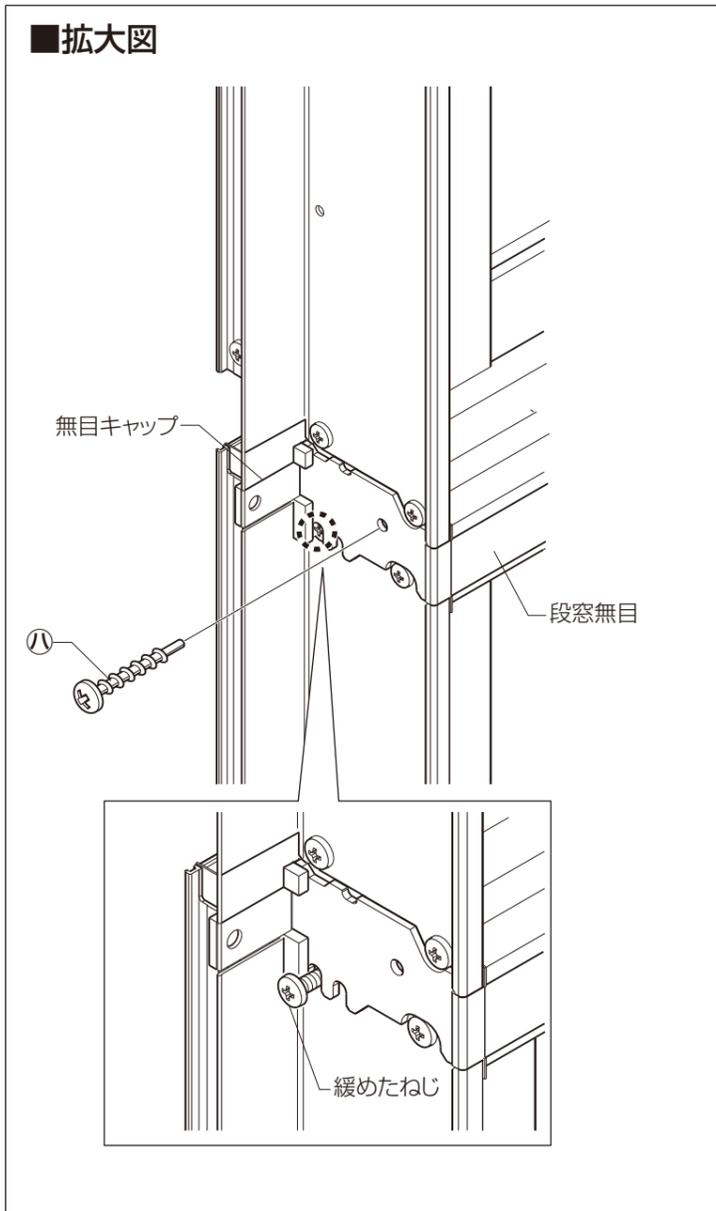


4 無目キャップの取付け

- ①上枠の組立てねじを緩めてください。
- ②連結部に無目キャップを⑧でねじ止めします。
※キャップにはL・Rがありますので確認してください。
- ③緩めたねじを確実に元に戻してください。

▲ 注意

●ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



■連段窓の場合の組立て順序

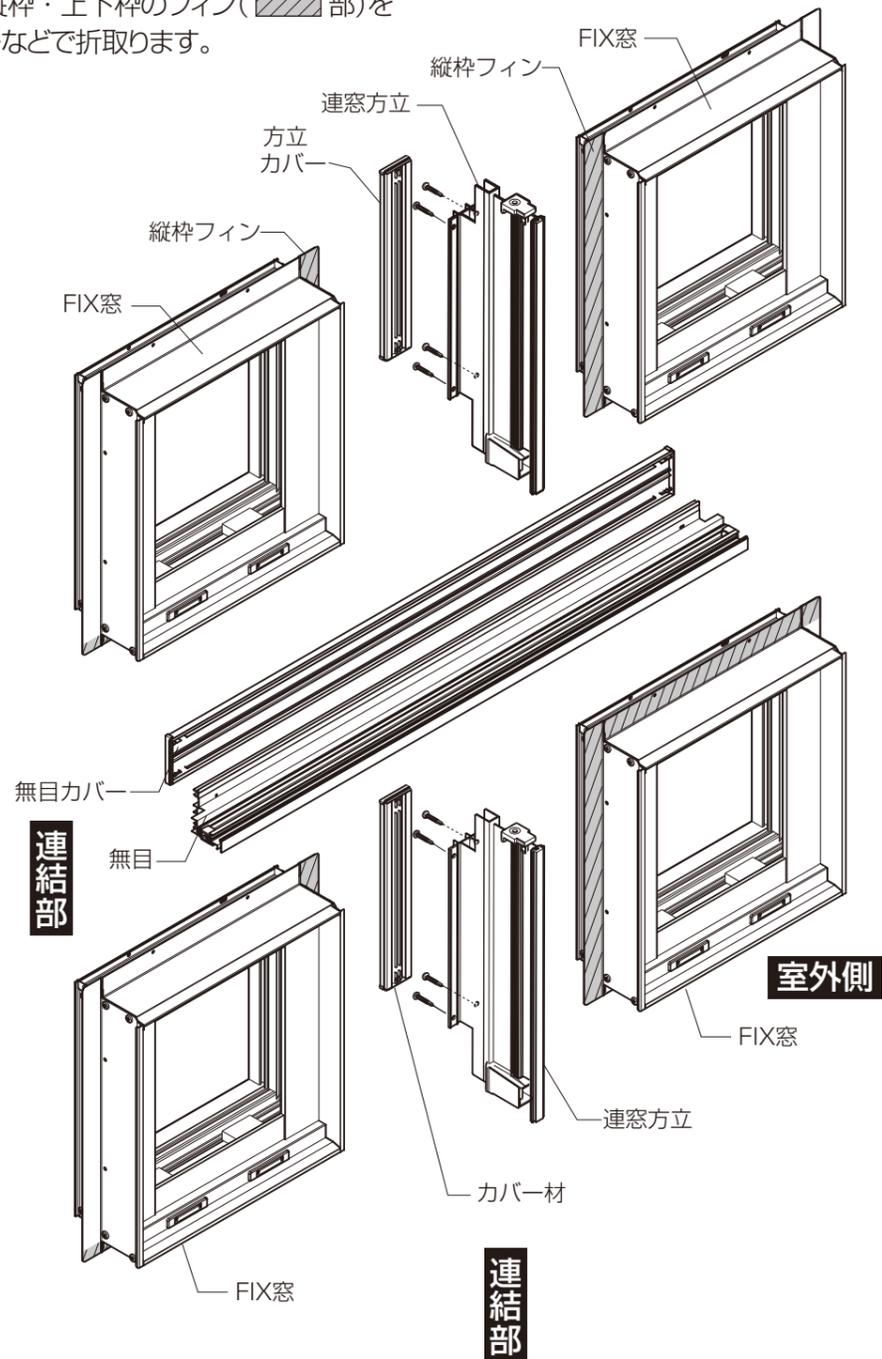
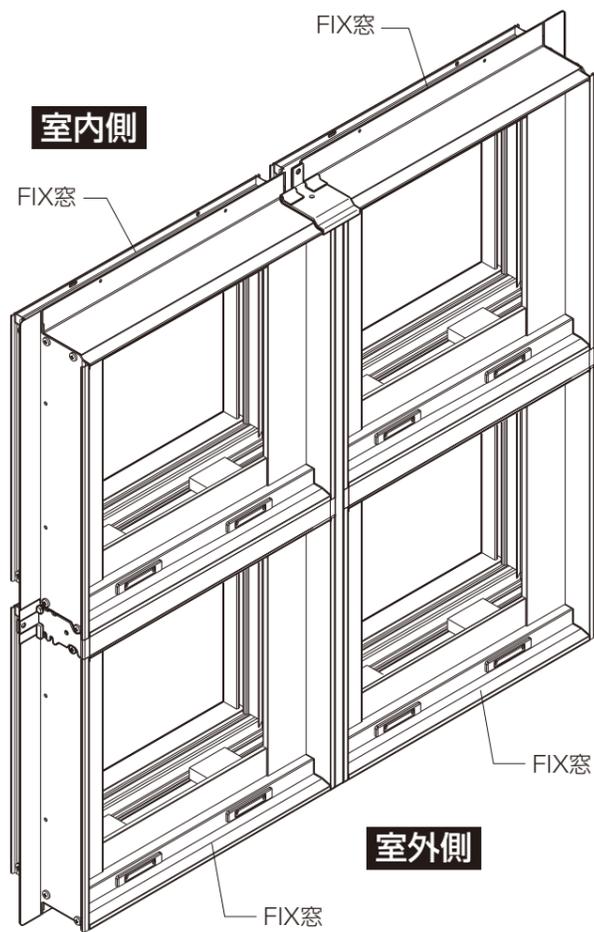
<FIX連窓+FIX連窓の場合>

1 連結前の準備

※連窓部の詳細は、「連窓方立180°組立て説明書」を参照してください。

①FIX窓の枠をそれぞれ組立てます。

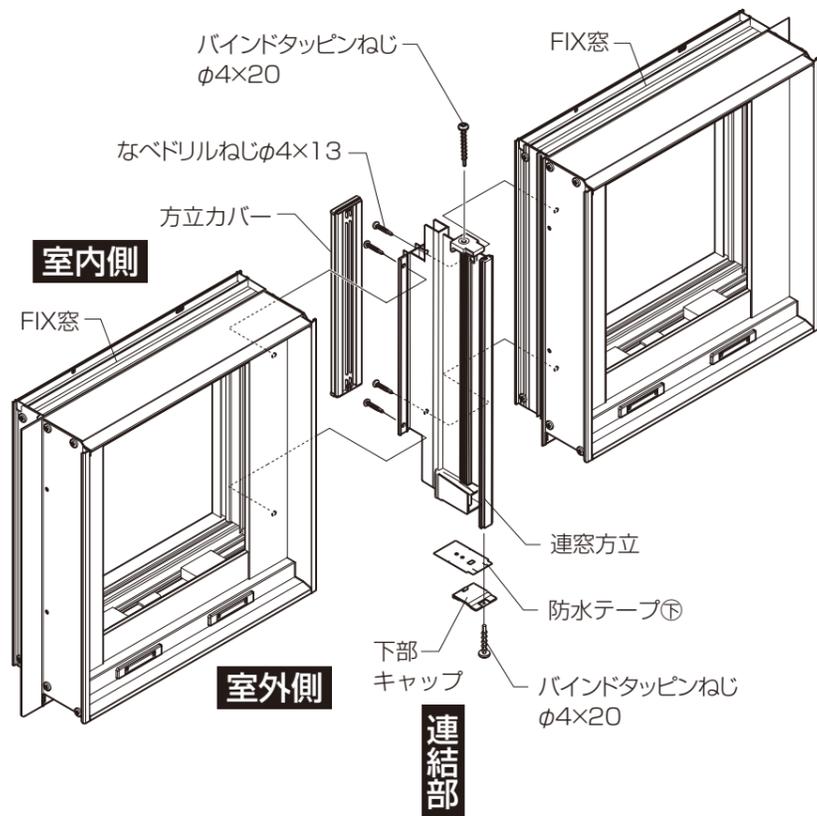
②連結部の縦枠・上下枠のフィン(斜線部)をプライヤーなどで折取ります。



2 連窓部の組立て

- ①「連窓方立180°組立て説明書」にしたがって、連窓方立と左右のサッシ枠を連結します。
 - ②上部に段窓無目がある場合、連窓方立下端に防水テープ⑩・下部キャップを取付けます。この場合、防水テープ⑨・上部キャップは使用しません。
- ※下部に段窓無目がある場合は、この逆になります。

【上部に段窓無目がある場合】



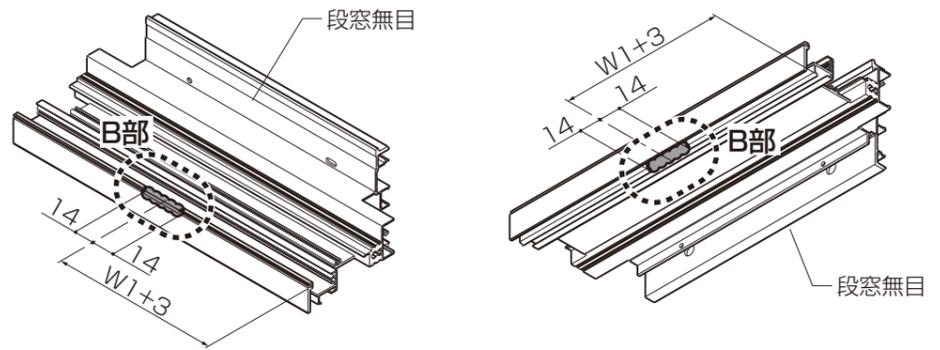
3 段窓部の組立て

- ※「2 段窓無目との連結」に従って、段窓無目と上下サッシ枠を連結します。
- ①段窓無目の連窓方立接続部(●部)を切欠きます。
- ※方立が複数の場合は、それぞれの連窓方立の接続部に対して切欠きを行ってください。

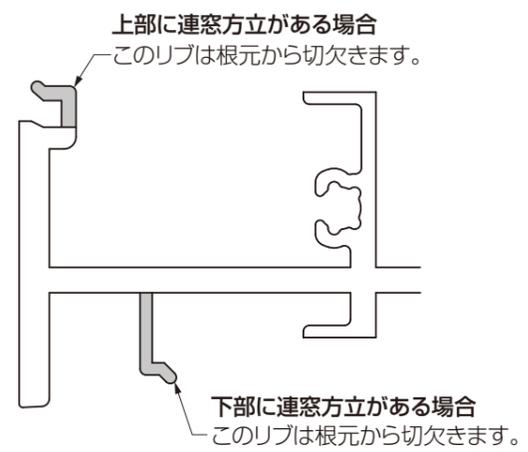
●連窓方立

【上部に連窓方立がある場合】

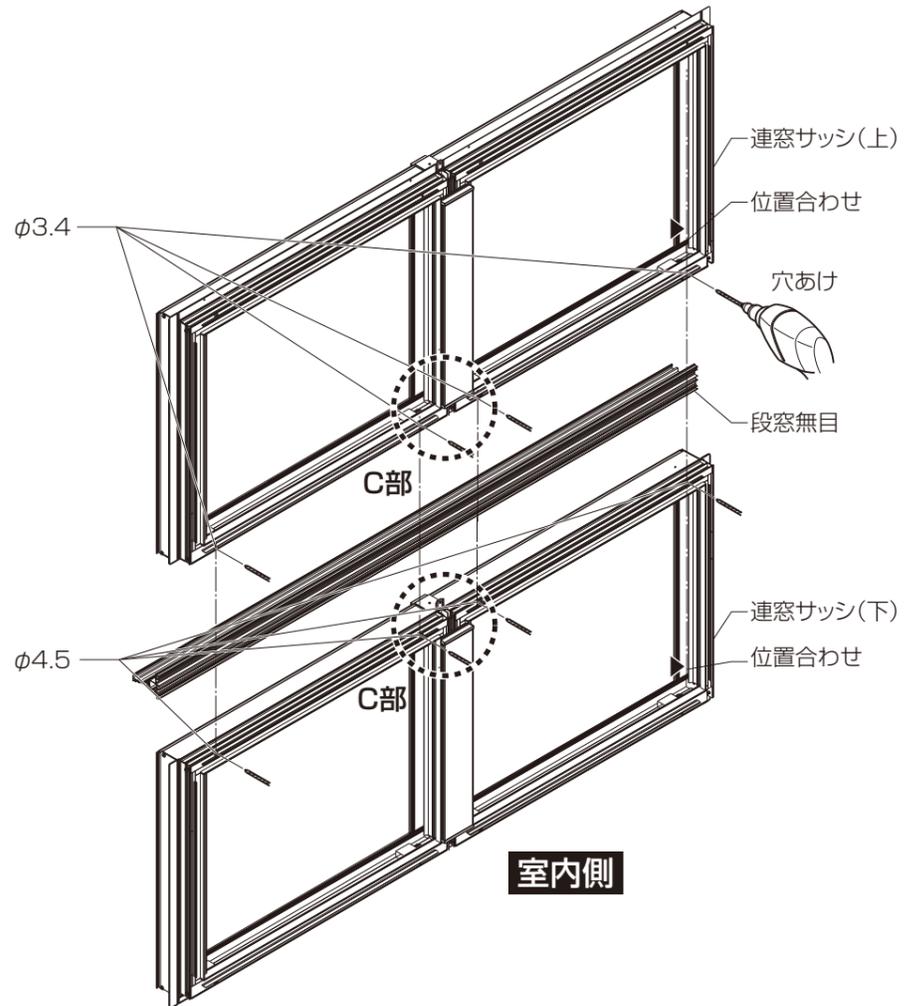
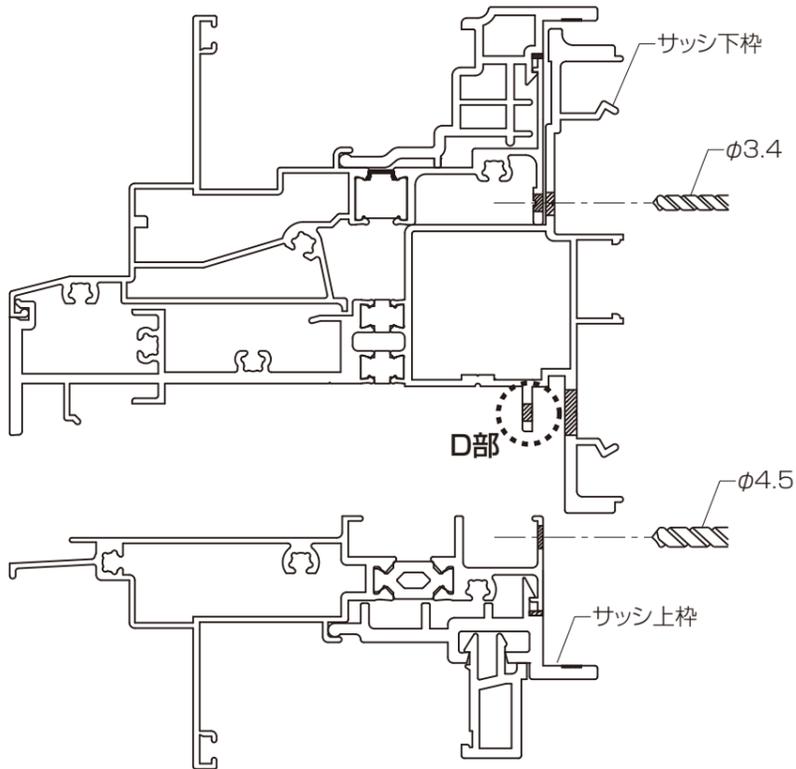
【下部に連窓方立がある場合】



■B部詳細図



- ②連窓サッシ(上)と段窓無目の右端の穴で位置を合わせ、段窓無目のすべての穴に合わせてサッシ下枠に $\phi 3.4$ の穴あけを行います。
 ※段窓無目にサッシ下枠を押し当てて穴あけを行ってください。
- ③連窓サッシ(下)と段窓無目の右端の穴で位置を合わせ、段窓無目のすべての穴に合わせてサッシ上枠に $\phi 4.5$ の穴あけを行います。
 ※段窓無目にサッシ上枠を押し当てて穴位置を決めてください。 $\phi 4.5$ の穴あけは段窓無目から連窓サッシを外した状態で行ってください。D部に $\phi 4.5$ の穴をあけるとねじが止まらなくなります。

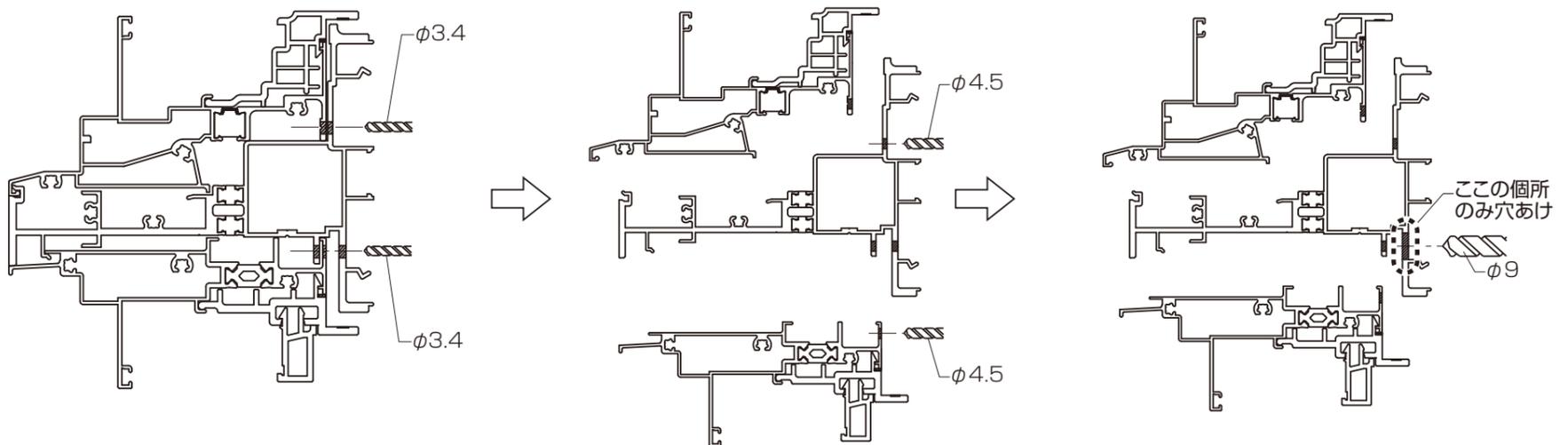


※段窓無目の穴がC部(連結する相手部材がない)にきた場合、右又は左に20mm程度ずらして以下の加工を行ってください。

【 $\phi 3.4$ の穴あけ】

【 $\phi 4.5$ の穴あけ】

【 $\phi 9$ の穴あけ】



- ④段窓無目のすべての穴をねじ止めし、無目カバーをはめ込みます。
 ⑤「③防水テープ無目の張付け」「④無目キャップの取付け」にしたがって、防水テープ無目、無目キャップを取付けます。

